現場の温度、湿度、風速をメールで通知 ［ウェザリー］

WEATHERY

# WEF-DS01 取扱説明書

**この度は、WEATHERY WEF-DS01（以下、“ 本機 ”）をご使用いただき、誠にありがとうございます。本書をよくお読みの上、正しく安全にご使用ください。**

## 免責について

本機は、熱中症対策の目安として温度および湿度を計測する目的で作られたものであり、熱中症を予防するものではありません。
本機を人命や財産にかかわる高い信頼性が要求される目的では使用しないでください。
本機は、特定エリアを対象に侵入を検知し、威嚇を行う目的に作られたものであり、本機単独で盗難や侵入を防止するものではありません。
当社はいかなる場合も、以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- 本機に関連して直接または間接的に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- お客様の誤使用や不注意によって発生した障害、または本機の破損など
- お客様により本機の分解、修正または改造が行われて以降に発生した一切の故障または不具合
- 本機の故障、不具合を含む何らかの理由または原因により、検知を行えないことによる不便、損害、被害
- 本機に関連して直接または間接的に発生したクレーム、および第三者へのいかなる影響など
- 本機が何らかの原因により電源供給を断たれた場合に起きた損害、被害
- 本機が電波障害などによって通信を断たれた場合に起きた損害、被害

### 本書で使用している記号

危害・損害の程度を区分して説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | （この表示を無視して）誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負うおそれがある内容を表示しています。 |
| ⚠注意 | （この表示を無視して）誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害が発生するおそれがある内容を表示しています。 |

お守りいただく内容を記号で説明しています。

| | | | |
|---|---|---|---|
| ⃠ | 「してはいけない」禁止事項です。 | ❗ | 「必ずしなければいけない」指示事項です。 |

## 機能

### ①侵入者・物の検知

人感センサーにより対象が検知範囲に侵入した場合に検知し、警報音と表示灯で威嚇を行います。
対象が以下の条件をすべて満たしている場合に検知されます。

- 地上からの高さ（身長など）が 1.5 m 以上
- 周囲との温度差が 1.5℃以上
- 移動速度が 1 m/ 秒以上

### ②温湿度測定による警報

温湿度センサーにより、取得した値が設定したしきい値を超えた際に、警報音と表示灯で警報を行います。

### ③風速測定による警報

風速センサーにより、取得した値が設定したしきい値を超えた際に、警報音と表示灯で警報を行います。

### ブラウザを使った設定

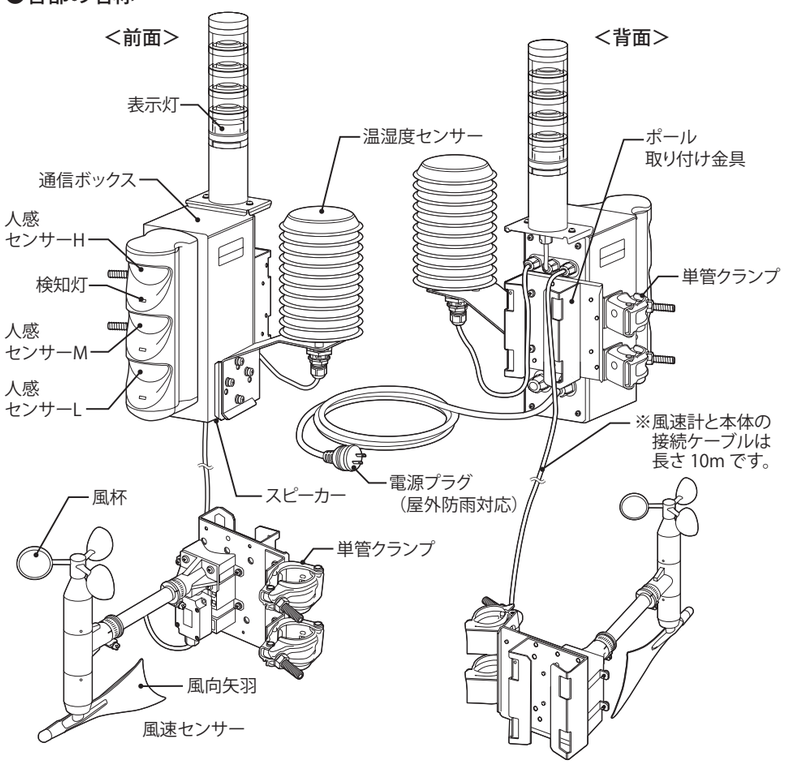
ソフトウェア不要で、パソコンやスマートフォンのブラウザから操作画面にログインし、各種設定ができます。

- **メール通知機能**
  対象検知時または取得した値がしきい値を超えた際に、任意のメールアドレスへ通知することができます。
- **スケジュール機能**
  曜日ごとに動作時間帯を設定できます。
- **動作制御**
  威嚇、警報時の表示灯とスピーカーの動作時間の設定や、強制動作・強制停止ができます。

## 付属品（同梱品）と各部の名称

| 付属品 | 個数 |
|---|---|
| 取扱説明書（本紙） | 1 |
| 設定情報シート | 1 |
| 簡易操作マニュアル | 1 |
| 精密ドライバー | 1 |
| 看板 | 1 |

●各部の名称




## 動作確認

設置前および設置後に、必ず電源が入ることを確認してください。

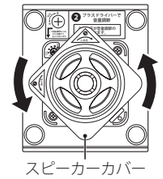
- 電源投入後は、人感センサーが 50 秒間ウォームアップ動作を行い、検知灯が点滅します。この間は検知を行いません。
- **人感センサーの前を横切るなどして、正常に検知するか確認してください。**

## スピーカーの音量調整と確認

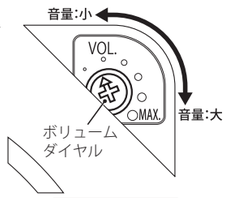
音量は、通信ボックス底面のボリュームダイヤルで調整できます。

| ⚠注意 | |
|---|---|
| ⃠ | ● ボリュームダイヤルは強く回さない<br>破損するおそれがあります。 |

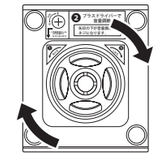
**1** スピーカーカバーを反時計回りに 45°回します。




**2** ボリュームダイヤルを精密ドライバーなどで回し、音量を調整します。




**3** スピーカーカバーを時計回りに 45°回して、元の位置に戻します。



**ご注意**

- 検知時の警報音が近隣の迷惑とならないように、適切な音量に設定してください。
- 停電などによって電源が切れた場合は、電源復旧後に必ず正しく動作することを確認してください。
- ブラウザの操作画面では音量調整できません。

## 動作時間の設定

操作画面から動作時間の設定ができます。
設定方法は、付属の「簡易操作マニュアル」を参照してください。

## メール通知設定

操作画面からメール通知の設定ができます。
設定方法は、付属の「簡易操作マニュアル」を参照してください。

**ご注意**
無線通信の回線状況やサーバーメンテナンスにより、メール通知や機器設定が正常に行われない場合があります。

## しきい値の設定

操作画面からしきい値の設定ができます。
設定方法は、付属の「簡易操作マニュアル」を参照してください。

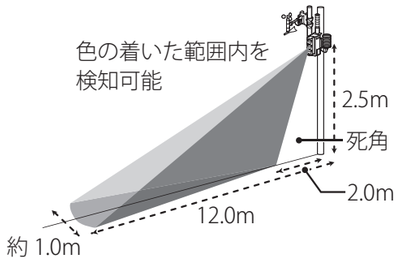
## 設置場所の確認

以下の確認を行って設置場所を決定してください。

**設置場所で通信できることの確認**

本機は無線通信網を使用した通信によって、設定や制御を行います。付属の「設定情報シート」および「簡易操作マニュアル」を参照し、パソコンやスマートフォンから本機にログインして制御できる状態であることを確認してください。
操作画面の通信アイコンが本機との通信が可能であることを示していない場合は、設置場所を通信可能なエリアに変更するか、コールセンターまでお問い合わせください。

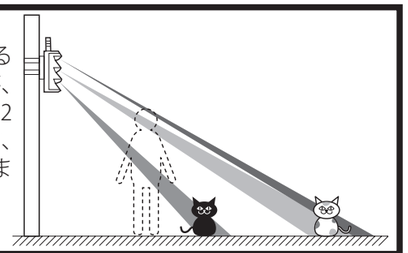
**設置場所と検知範囲**




- 人感センサーMが地面から 2.5m の高さになるように垂直に設置します。
- センサーの検知距離は約 12.0m、検知幅は約 1.0m です。
- 本機の真下から約 2.0m 未満の範囲はセンサーの死角となり、検知できないおそれがあります。
- 対象が本機に向かう（遠ざかる）方向に動く場合は温度変化が小さくなり、検知できないおそれがあります。

**ご注意：誤検知してしまう場合**

本機は 3 つの人感センサーが連動することで対象の検知を行っていますが、猫など検知条件を満たさないものが 2 つ検知範囲に同時に侵入した場合に、対象が侵入したとして誤検知してしまう場合があります。



## 設置場所の制限

- ● 本機は、安定した単管パイプまたはポールなどに設置してください。
- ● 本体が揺れない場所に設置してください。
- ● 検知範囲内が平坦になるように設置してください。
  センサーの検知範囲内に傾斜があると、場所によってセンサーに対する対象物の高さが変わってしまい、正しく検知できない場合があります。
- ● 人感センサーの検知範囲内に物を置かないでください。
  置かれた物が障害または誤検知の原因となり、正しく検知できない場合があります。
- ● センサーの検知範囲近辺に、温度が高くなるもの（直射日光が当たっている樹木や車など）や、風などで揺れるものがない場所に設置してください。
  正しく検知できない場合があります。
- ● センサーの検知範囲近辺に反射するものがないように設置してください。
  検知範囲外の離れた場所であっても、温度の高いものから検知範囲内に向かって地面、鏡、水たまり、反射率の高い壁や床などによる反射がある場合、検知に影響し、正しく検知できない場合があります。
- ● 測定場所と作業場所の温度は必ずしも一致しませんので、ご注意ください。
- ● 無風の場合は、温度や湿度を正しく計測できないことがあります。

## 設置時のお願い

ここでは危害や物的損害を防ぎ、安全に設置し使用するための注意事項を記載しています。設置の際は必ず記載事項をお守りください。
設置はお客様の責任において行ってください。

**本機を設置できない場所**

- 揺れや激しい振動、衝撃のある不安定な場所
- プールなど薬剤を使用する場所
- 湿気やほこり、蒸気や油分の多い場所
- 溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の場所
- 放射線やＸ線および強力な電波や磁気の発生する場所
- 海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
- 使用周囲温度（-10 ℃～ +50 ℃）を越える場所
- 車両や船舶などの振動が多い場所（本機は車載用ではありません）
- エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所
- 電源が抜けやすいところ、切断される場所

**設置作業時の注意**

- 高所での設置作業時には、転落によるけがや本機の落下による破損に注意してください。
- 設置場所は、本機の総重量に耐える十分な強度があることを確かめ、必要に応じて十分な補強を行ってください。
- 通信ボックス（本体）は地面に対して垂直に設置してください。
- 確実に本機を固定して、揺れが生じないように設置してください。
- 雷が鳴り始めたら設置や点検などの作業を中止し、本体や電源コードに触れないでください。
- 落下や感電に注意して作業してください。
- 単管パイプに取り付ける場合は、付属の単管クランプをご使用ください。背面のポール取り付け金具を使用する場合は、ステンレスバンドをご用意頂きポールなどの安定した場所へ取り付けてください。詳細は本書の「設置方法」を確認してください。
- 必ず人感センサーMが地面から 2.5m の高さになるよう設置してください。
- 風速センサーは、風杯が上になるように設置してください。逆向きで設置すると、故障の原因となります。
- 高所に風速センサーを設置する場合、風速センサーが風などで飛ばされないように安定した場所へ設置してください。

## 設置方法

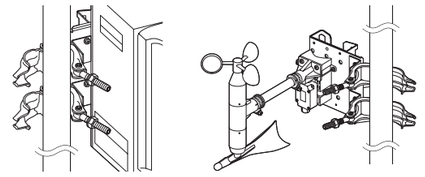
**ご注意**
電源は設置後に接続してください。

### ■ 単管パイプに固定する場合

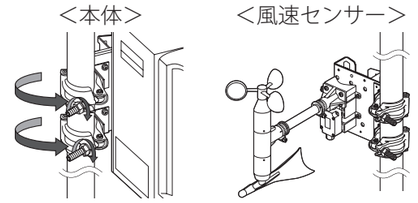
**⚠警告**

- ● 設置後、定期的にナットの緩みや金具の錆びなどが発生していないか確認する
  本機が落下し、けがや破損、事故などの原因になります。

**1** 単管クランプを単管パイプに取り付けます。




**2** 単管クランプを閉じます。
**3** ナットを締め、固定します。

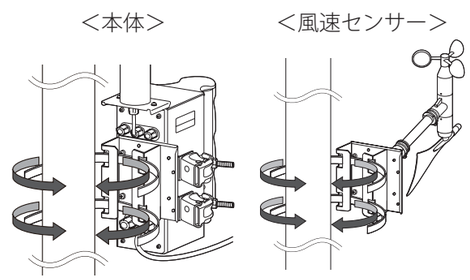



### ■ 支柱などに固定する場合

**⚠警告**

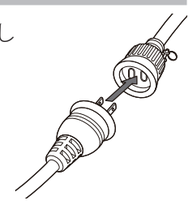
- ● 設置後、定期的にステンレスバンドの緩みや金具の錆びなどが発生していないか点検する
  本機が落下し、けがや破損、事故などの原因になります。

**1** 市販のステンレスバンド（幅 10.0mm ～ 20.0mm、厚さ 0.3mm 以上のもの）を別途用意します。
**2** 本体背面のポール取り付け金具にステンレスバンドを通します。
**3** ステンレスバンドを支柱に巻いて固定します。




## 電源の接続

メス口プラグを使用する場合は、市販の防雨型のものを使用してください。



現場の温度、湿度、風速をメールで通知【ウェザリー】
WEATHERY
株式会社キッズウェイ 愛知県瀬戸市山の田町 155 番地

# WEATHERY WEF-DS01 を安全にお使いいただくために

この度は、WEATHERY WEF-DS01（以下、“ 本機 ”）をご使用頂き、誠にありがとうございます。
本書をよくお読みの上、正しく安全にご使用ください。

## 免責について

本機は、熱中症対策の目安として温度および湿度を計測する目的で作られたものであり、熱中症を予防するものではありません。
本機を人命や財産にかかわる高い信頼性が要求される目的では使用しないでください。
本機は、特定エリアを対象に侵入を検知し、威嚇を行う目的に作られたものであり、本機単独で盗難や侵入を防止するものではありません。
当社はいかなる場合も、以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- 本機に関連して直接または間接的に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- お客様の誤使用や不注意によって発生した障害、または本機の破損など
- お客様により本機の分解、修正または改造が行われて以降に発生した一切の故障または不具合
- 本機の故障、不具合を含む何らかの理由または原因により、検知を行えないことによる不便、損害、被害
- 本機に関連して直接または間接的に発生したクレーム、および第三者へのいかなる影響など
- 本機が何らかの原因により電源供給を断たれた場合に起きた損害、被害
- 本機が電波障害などによって通信を断たれた場合に起きた損害、被害

## 安全上の注意

ここでは、お客様への危害、物的損害を未然に防ぎ、安全に使用していただくための注意事項を記載しています。ご使用の際は必ず記載事項をお守りください。

**本書で使用している記号**

危害・損害の程度を区分して説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | （この表示を無視して）誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。 |
| ⚠注意 | （この表示を無視して）誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。 |

お守りいただく内容を記号で説明しています。

| | |
|---|---|
| ⃠ | 「してはいけない」禁止事項です。 |
| ❗ | 「必ずしなければいけない」指示事項です。 |

### ⚠警告

⃠
- **分解しない、改造しない**
  感電や火災、故障の原因になります。
  修理や点検は、コールセンターに連絡してください。
- **異物を内部に入れない**
  感電や火災、故障の原因になります。
  水や金属、油などの異物が内部に入った場合は、直ちに電源を切り、コールセンターに連絡してください。
- **可燃性ガスの雰囲気中で使用しない**
  爆発の原因になります。
- **塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない**
  製品が劣化し、落下によるけがや事故、故障の原因になります。
- **落とさない、強い衝撃を与えない**
  けがや故障による火災などの原因になります。
- **製品の上に重いものを載せない**
  落下や、転倒によるけがや事故の原因になります。
- **濡れた手で電源プラグに触れない**
  感電や故障の原因になります。
- **電源コードを強く引っ張る、加熱、加工などの行為をしない**
  感電や火災、故障の原因になります。

❗
- **煙が出る、異臭がする、外部が劣化するなど、異常がある場合は、すぐに使用をやめる**
  そのまま使用すると、火災や落下によるけが、事故の原因になります。
- **定期的に点検する**
  ねじやステンレスバンドの緩み、金具の錆びを放置すると、落下によるけがや事故の原因になります。
- **振動が無い場所に設置する**
  落下によるけがや、誤動作の原因になります。

### ⚠注意

⃠
- **金属のエッジで手をこすらない**
  強くこすると、けがの原因になります。

## 返却方法（レンタルの場合）

納品時の梱包材を使用して梱包してください。
万一、本機への改造や破損、部品の不足などの異常があった場合は、修繕にかかる費用などをご負担いただく場合があります。梱包前に必ずご確認ください。

**お願い**
返却時に必要になりますので、梱包材は廃棄しないでください。
返却前に異常が見つかった場合は、コールセンターへご連絡ください。

## 困ったときは

以下の内容に従って、対処ください。症状が改善されない場合は、コールセンターにご相談ください。

| 症状 | 原因と処置 |
|---|---|
| 検知されるべき事象が起こっても、反応がない（人感センサー） | ● **モード設定が鳴動 強制 OFF になっている。または動作時間帯として設定されていない。**<br>→ ブラウザから操作画面に接続し、機器設定を確認してください。設定方法は、付属の「簡易操作マニュアル」を参照してください。<br>● **センサーの検知範囲から外れている。**<br>検知範囲は、検知距離 12m、検知幅 1m です。（ただし、真下からの距離が 2m 未満の範囲内はセンサーの死角となり、検知できないおそれがあります。）<br>→ 対象エリアが検知範囲に含まれるように、設置場所を変更してください。<br>● **センサー部分に汚れが付着している。**<br>→ 電源プラグをコンセントから抜いた上で、水洗いは避け、水に浸した布などで汚れを拭き取り、その後、乾いた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、ワックス、石油、石けん、磨き粉、熱湯、化学ぞうきんなどは使用しないでください。 |
| 誤検知が多い（人感センサー） | ● **センサーが正しく検知を行っていない。**<br>→ 以下の状態にする（問題がある場合は問題点を取り除く）か、設置場所や設置方向を変更してください。<br>・検知範囲に物が置かれていない<br>・検知範囲の近くに、温度が高くなるもの、または風で揺れるものがない<br>・検知範囲外から検知範囲に向かって熱を発するものがない |
| メール通知が大量に送られてくる（共通） | ● **通知間隔、リアラートが設定されていない。**<br>→ 通知間隔またはリアラートを設定した場合、その間はメール通知を停止することができます。メール設定で任意の間隔を設定してください。 |
| 通知される事象が起こっても、メール通知が送られてこない（共通） | ● **メールアドレスが正しく設定されていない。**<br>→ ブラウザから操作画面に接続し、メール通知先を確認してください。操作方法は、付属の「簡易操作マニュアル」を参照してください。<br>● **通知間隔、リアラートが設定されている。**<br>→ 通知間隔で設定した時間またはリアラートに設定した検知回数の間はメール通知は行われません。メール設定を確認してください。<br>● **電波障害などによって、本機が通信できない状態になっていた。**<br>→ 操作画面の通信アイコンが本機との通信が可能であることを示していない場合は、設置場所を変更するか、コールセンターにお問い合わせください。操作方法は、付属の「簡易操作マニュアル」を参照してください。 |

## 仕様

| 項　目 | | 仕　様 |
|---|---|---|
| 名称 | | DS 型 |
| 品番 | | WEF-DS01 |
| 基本 | 電源 | AC100V（50/60Hz） |
| | 消費電力 | 13W |
| | 電源ケーブル長 | 5m |
| | 使用温度範囲 | -10 ～ 50℃ |
| | 使用湿度範囲 | 20 ～ 85%Rh( 結露無きこと ) |
| | 設置環境 | 屋内 / 屋外 |
| | 外形寸法 | H610mm × W450mm × D310mm |
| | 重量 | 6.3kg（風速センサーを除く） |
| 通信 | | 無線通信網 |
| 人感センサー | 検知方式 | パッシブインフラレッド方式 |
| | 検知距離 | 12m（取付高 2.5m 時） |
| 風速センサー | 風速測定範囲 | 0 ～ 60m/s |
| | 重量 | 2.2kg( 本体とは別重量 ) |
| | 外径寸法 | H300mm × W230mm × D390mm |
| 温湿度センサー | 温度測定範囲 | -20 ～ 50℃ |
| | 湿度測定範囲 | 0 ～ 100% |
| | WBGT | 15 ～ 44℃（換算表より算出 ) |
| 表示灯 | 電球 | LED |
| | 光度 | 800 ～ 2150mcd（色によって異なる） |
| 警報機 | 音圧レベル | 最大 87db |

# 暑さ指数（WBGT）

暑さ指数（WBGT）とは、熱中症を予防するための指標です。しきい値設定の参考にしてください。
※『日常生活での熱中症予防指針』は日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」より引用しています。
　製品上では気温を温度と表記しています。
※『身体強度に応じた WBGT 基準値』『衣装の組み合わせにより WBGT 値に加えるべき補正値』は厚生労働省リーフレット「熱中症を防ごう！」より引用しています。

## 身体作業強度に応じた WBGT 基準値

| 区分 | 身体作業強度 ( 代謝率レベル ) の例 | WBGT 基準値 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 熱に順化している人 (℃) | | 熱に順化していない人 (℃) | |
| 0 安静 | ・安静 | 33 | | 32 | |
| 1 低代謝率 | ・楽な座位<br>・軽い手作業 ( 書く、タイピング、描く、縫う、簿記 )<br>・手及び腕の作業 ( 小さいベンチツール、点検、組み立てや軽い材料の区分け )<br>・腕と足の作業 ( 普通状態での乗り物運転、足のスイッチやペダルの操作 )<br>・立位 ・ドリル ( 小さい部分 )<br>・スライス盤 ( 小さい部分 ) ・コイル巻き<br>・小さい電気子巻き ・小さい力の道具の機械<br>・ちょっとした歩き（速さ 3.5km/h） | 30 | | 29 | |
| 2 中程度代謝率 | ・継続した頭と腕の作業（くぎ打ち、盛土）<br>・腕と脚の作業（トラックのオフロード操縦、トラクター及び建設車両）<br>・腕と胴体の作業（空気ハンマーの作業、トラクター組み立て、しっくい塗り、中くらいの重さの材料を断続的に持つ作業、草むしり、草掘り、果物や野菜を摘む）<br>・軽量な荷車や手押し車を押したり引いたりする<br>・3.5 ～ 5.5km/h の速さで歩く<br>・鍛造 | 28 | | 26 | |
| 3 高代謝率 | ・強度の腕と胴体の作業<br>・重い材料を運ぶ ・シャベルを使う<br>・大ハンマー作業 ・のこぎりをひく<br>・草刈り ・掘る<br>・硬い木にかんなをかけたりのみで彫る<br>・5.5 ～ 7.5km/h の速さで歩く<br>・重い荷物の荷車や手押し車を押したり引いたりする<br>・鋳物を削る ・コンクリートブロックを積む | 気流を感じないとき 25 | 気流を感じるとき 26 | 気流を感じないとき 22 | 気流を感じるとき 23 |
| 4 極高代謝率 | ・最大速度の速さでとても激しい活動<br>・おのを振るう<br>・激しくシャベルを使ったり掘ったりする<br>・階段を登る、走る、7km/h より早く走る | 23 | 25 | 18 | 20 |

※ 基準値表は既往症がない成人男性を基準としています。
※ 熱に順化していない人とは「作業する前の週に毎日熱にばく露されていなかった人」のことをいいます。

## 衣類の組み合わせにより WBGT 値に加えるべき補正値

| 衣服の種類 | 作業服 ( 長袖シャツとズボン) | 布 ( 織物 ) 製つなぎ服 | 二層の布 ( 織物 ) 製服 | SMS ポリプロピレン製つなぎ服 | ポリオレフィン布製つなぎ服 | 限定用途の蒸気不浸透性つなぎ服 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| WBGT 値に加えるべき補正値 (℃) | 0 | 0 | 3 | 0.5 | 1 | 11 |

参照：厚生労働省リーフレット「熱中症を防ごう！」より
http://www.wbgt.env.go.jp/pdf/ic_rma/2301/mat05_3.pdf

※ 補正値は、一般にレベル A と呼ばれる完全な不浸透性防護服に使用しないでください。
※ 重ね着の場合に、個々の補正値に加えて全体の補正値とすることはできません。

## 日常生活での熱中症予防指針

| 気温（℃）（乾球温度） ＼ 相対湿度（%） | 20 | 25 | 30 | 35 | 40 | 45 | 50 | 55 | 60 | 65 | 70 | 75 | 80 | 85 | 90 | 95 | 100 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 40 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 |
| 39 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 |
| 38 | 28 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 |
| 37 | 27 | 28 | 29 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 |
| 36 | 26 | 27 | 28 | 29 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 39 |
| 35 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 38 |
| 34 | 25 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 37 |
| 33 | 24 | 25 | 25 | 26 | 27 | 28 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 32 | 33 | 34 | 35 | 35 | 36 |
| 32 | 23 | 24 | 25 | 25 | 26 | 27 | 28 | 28 | 29 | 30 | 31 | 31 | 32 | 33 | 34 | 34 | 35 |
| 31 | 22 | 23 | 24 | 24 | 25 | 26 | 27 | 27 | 28 | 29 | 30 | 30 | 31 | 32 | 33 | 33 | 34 |
| 30 | 21 | 22 | 23 | 24 | 24 | 25 | 26 | 27 | 27 | 28 | 29 | 29 | 30 | 31 | 32 | 32 | 33 |
| 29 | 21 | 21 | 22 | 23 | 24 | 24 | 25 | 26 | 26 | 27 | 28 | 29 | 29 | 30 | 31 | 31 | 32 |
| 28 | 20 | 21 | 21 | 22 | 23 | 23 | 24 | 25 | 25 | 26 | 27 | 28 | 28 | 29 | 30 | 30 | 31 |
| 27 | 19 | 20 | 21 | 21 | 22 | 23 | 23 | 24 | 25 | 25 | 26 | 27 | 27 | 28 | 29 | 29 | 30 |
| 26 | 18 | 19 | 20 | 20 | 21 | 22 | 22 | 23 | 24 | 24 | 25 | 26 | 26 | 27 | 28 | 28 | 29 |
| 25 | 18 | 18 | 19 | 20 | 20 | 21 | 22 | 22 | 23 | 23 | 24 | 25 | 25 | 26 | 27 | 27 | 28 |
| 24 | 17 | 18 | 18 | 19 | 19 | 20 | 21 | 21 | 22 | 22 | 23 | 24 | 24 | 25 | 26 | 26 | 27 |
| 23 | 16 | 17 | 17 | 18 | 19 | 19 | 20 | 20 | 21 | 22 | 22 | 23 | 23 | 24 | 25 | 25 | 26 |
| 22 | 15 | 16 | 17 | 17 | 18 | 18 | 19 | 19 | 20 | 21 | 21 | 22 | 22 | 23 | 24 | 24 | 25 |
| 21 | 15 | 15 | 16 | 16 | 17 | 17 | 18 | 19 | 19 | 20 | 20 | 21 | 21 | 22 | 23 | 23 | 24 |

| WBGT値 | 注意 25℃未満 | 警戒 25℃～ 28℃ | 厳重警戒 28℃～ 31℃ | 危険 31℃以上 |
|---|---|---|---|---|

（ここで、28℃～ 31℃は、２８℃以上 31℃未満の意味）

参照：日本生気象学会 「日常生活における熱中症予防指針」 Ver.3 確定版より

※ 危険・厳重警戒などの分類は、日常生活上での基準です。労働の場における熱中症予防の基準は、『身体作業強度に応じた WBGT 基準値』を参考にしてください。


お問い合わせ先
コールセンター 0570-783-114
受付：9 時～ 21 時（年末年始を除く）

株式会社キッズウェイ
愛知県瀬戸市山の田町 155 番地

# 黒球モデル　WEF-GT01
# 取扱説明書

この度は、WEATHERY黒球モデル　WEF-GT01（以下、製品を表す際は"本機"）をご使用いただき、誠にありがとうございます。
本書をよくお読みの上、正しく安全にご使用ください。

## 免責について

本機は、熱中症対策として気温、湿度、黒球温度を計測・WBGT値を算出するために作られたものであり、熱中症を予防する物ではありません。
本機を人命や財産にかかわる高い信頼性が要求される目的では使用しないでください。
当社はいかなる場合も、以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- 本機に関連して直接または間接的に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- お客様の誤った使用や不注意によって発生した傷害、または本機の破損など
- お客様により本機の分解、修正または改造が行われて以降に発生した一切の故障または不具合
- 本機の故障、不具合を含む何らかの理由または原因により、検知を行えないことによる不便、損害、被害
- 本機に関連して直接または間接的に発生したクレーム、および第三者へのいかなる影響など
- 本機が何らかの原因により電源供給を断たれた場合に起きた損害、被害
- 本機が電波障害などによって通信を断たれた場合に起きた損害、被害

**本書で使用している記号**
危害・損害の程度を区分して説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | （この表示を無視して）誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。 |
| ⚠ 注意 | （この表示を無視して）誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。 |

お守りいただく内容を記号で説明しています。

| | |
|---|---|
| ⃠ | 「してはいけない」禁止事項です。 |
| ❗ | 「必ずしなければいけない」指示事項です。 |

## 機能

**①気温・湿度・WBGT値の計測**
温湿度センサにより気温と湿度を計測します。
黒球温度センサーにより黒球温度※1を計測し、気温・湿度と合わせてWBGT値を算出します。
取得・算出した気温・湿度・WBGT値のデータはクラウドに送信します。
※1：黒球温度の計測結果はクラウドには送信されず、WBGT値算出のために使用されます。

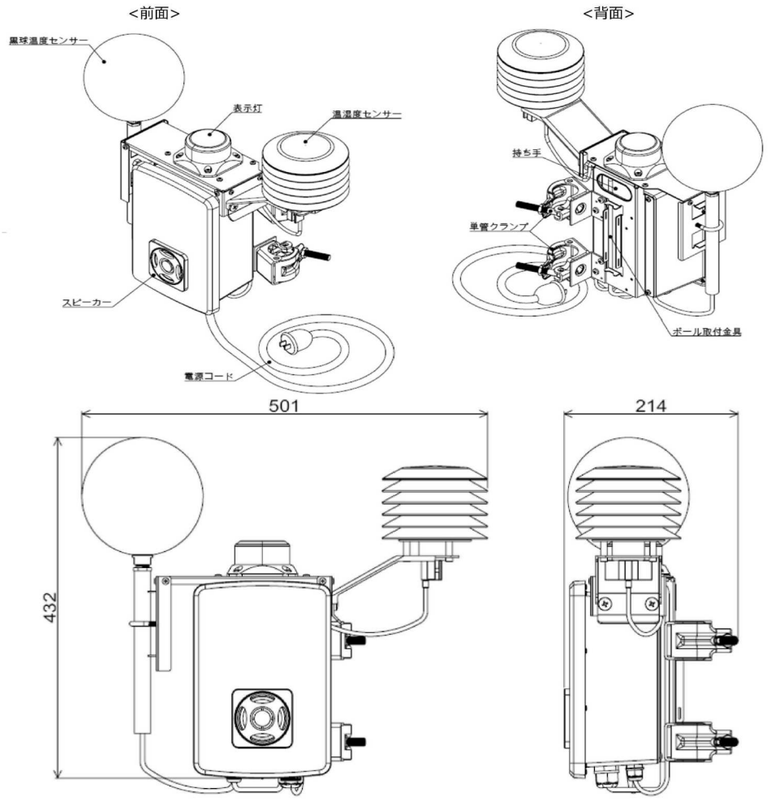
**②WBGT値による警報**
設定したWBGT値のしきい値に従い表示灯とスピーカーで警報を行います。

**③ブラウザを使用した設定**
パソコンやスマートフォンのブラウザから操作画面にログインすることで、各種設定ができます。（専用アプリ等のインストール不要）
・スケジュール機能
曜日ごとに通知や警報を動作する時間帯を設定できます。
・動作制御
WBGT値のしきい値や表示灯とスピーカーの警報時間を設定できます。
・メール通知機能
取得した値がしきい値を超えた際に、任意のメールアドレスへ通知できます。

## 同梱品と各部の名称

| 同梱品 | 個数 |
|---|---|
| 本機（WEF-GT01）※単管クランプ、ポール取付金具含む | 1 |
| 取扱説明書（本書） | 1 |
| 設定情報シート | 1 |
| 簡易操作マニュアル | 1 |
| 精密ドライバー | 1 |
| ステンレスバンド | 2 |

**WEF-GT01**




## 安全上の注意

### ⚠ 警告

- **分解しない、改造しない**
感電や火災、故障の原因になります。修理や点検は、コールセンターに連絡してください。
- **異物を内部に入れない**
感電や火災、故障の原因になります。水や金属、油などの異物が内部に入った場合は、直ちに電源を切り、コールセンターに連絡してください。
- **可燃性ガスの雰囲気中で使用しない**
爆発の原因になります。
- **塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない**
製品が劣化し、落下によるけがや事故、故障の原因になります。
- **落とさない、強い衝撃を与えない**
けがや故障による火災などの原因になります。
- **製品の上に重いものを載せない**
落下や、転倒によるけがや事故の原因になります。
- **濡れた手で電源プラグに触れない**
感電や故障の原因になります。
- **電源コードを強く引っ張る、加熱、加工等の行為をしない**
感電や火災、故障の原因になります。

❗
- **煙が出る、異臭がする、外部が劣化するなど、異常がある場合は、すぐに使用をやめる**
そのまま使用すると、火災や落下によるけが、事故の原因になります。
- **定期的に点検する**
ねじやステンレスバンドの緩み、金具の錆びを放置すると、落下によるけがや事故の原因になります。

### ⚠ 注意

⃠
- **金属のエッジで手をこすらない**
強くこすると、けがの原因になります。

## 設置時のお願い

ここでは危害や物的損害を防ぎ、安全に設置し使用するための注意事項を記載しています。設置の際は必ず記載事項をお守りください。
設置はお客様の責任において行ってください。

**⃠ 本機を設置できない場所**

・揺れや激しい振動、衝撃のある不安定な場所
・プールなど薬剤を使用する場所
・湿気やほこり、蒸気や油分の多い場所
・溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の場所
・放射線やＸ線および強力な電波や磁気の発生する場所
・海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
・使用温度範囲（-10 ℃～ +50 ℃）を越える場所
・車両や船舶などの振動が多い場所（本機は車載用ではありません）
・エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所
・電源が抜けやすいところ、切断される場所

**❗ 設置作業時の注意**

・周囲の物にぶつかるなど、本機に衝撃を加えないように注意してください。
・本機の黒球温度センサー/温湿度センサー/表示灯部を持たないでください。
・高所の設置作業時には、転落によるけがや本機の落下による破損に注意してください。
・本機は黒球温度センサー部が上になるように地面に対して垂直に設置してください。
・設置場所は、本機の総重量に耐える十分な強度があることを確かめ、必要に応じて十分な補強を行ってください。
・確実に本機を固定して、揺れが生じないように設置してください。
・雷が鳴り始めたら設置や点検などの作業を中止し、本体や電源コードに触れないでください。
・落下や感電に注意して作業してください。
・単管パイプに取り付ける場合は、付属の単管クランプをご使用ください。背面のポール取付金具を使用する場合は、同梱のステンレスバンドを使用しポールなどの安定した場所へ取り付けてください。詳細は本書の「設置方法」を確認してください。

## 動作確認

設置前および設置後に、必ず電源が入ることを確認してください。
- AC100V（50/60Hz)の電源をご用意ください。
- 電源を供給することで自動で本機は計測を開始します。
  専用サイトにログインし、センサー値が表示されることを確認してください。

## 設置場所の制限

- 本機は、安定した単管パイプまたはポールなどに設置してください。
- 本体が揺れない場所に設置してください。
- 計測場所と作業場所の温度は必ずしも一致しませんので、ご注意ください。
- 無風の場合は正しく計測できないことがあります。

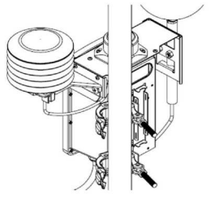
## 設置方法

**⚠ 警告**

- **設置時に本機に衝撃を加えないでください。**
  センサー部が破損し正確に計測できない原因となります。
- **設置後、定期的にナットの緩みや金具の錆びなどが発生していないか確認する。**
  本機が落下し、けがや破損、事故などの原因となります。
- **電源は設置後に接続してください。**

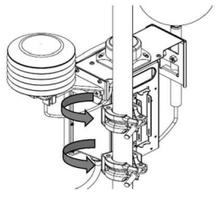
**■単管クランプで固定する場合**

**1** 単管クランプを単管パイプに取り付けます。
（適正パイプ径：Φ48.6）



**2** 単管クランプを閉じます。

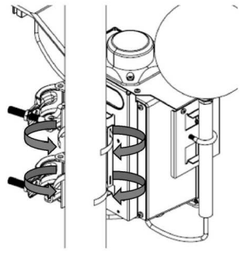
**3** ナットを締め、固定します。



**■ステンレスバンドで固定する場合**

**1** 同梱のステンレスバンドを本機背面のポール取付金具に通します。

**2** ステンレスバンドを支柱に巻いて固定します。



## 電源の接続

メスロプラグを使用する場合は、市販の防雨型のものを使用してください。



電源を供給することで自動で本機は計測を開始します。

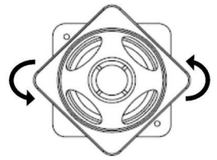
## スピーカーの音量調節と確認

音量は、本機正面にあるスピーカーのボリュームダイヤルで調整できます。

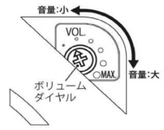
**⚠ 注意**

- **ボリュームダイヤルは強く回さない**
  破損するおそれがあります。

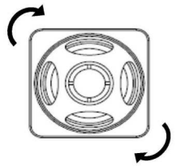
**1** スピーカーカバーを反時計回りに45°回します。



**2** ボリュームダイヤルを同梱の精密ドライバーで回し、音量を調節します。




**3** スピーカーカバーを時計回りに45°回して、元の位置に戻します。



**ご注意**
- 必ずスピーカーカバーを元の位置に戻してください。
- 検知時の警報音が近隣の迷惑とならないように、適切な音量に設定してください。
- 停電などによって電源が切れた場合は、電源復旧後に必ず正しく動作することを確認してください。
- ブラウザの設定画面では音量調整できません。

## 警報

設定に従い表示灯およびスピーカーが警報を鳴らします。
- WBGT値（警告）のしきい値を超え、初回通知/再通知のタイミングで警報を鳴らす場合
  表示灯：赤色点滅（トリプルフラッシュ）
  スピーカー：「熱中症警報です。」のメッセージ再生
- WBGT値（注意）のしきい値を超え、初回通知/再通知のタイミングで警報を鳴らす場合
  表示灯：黄色点滅（ダブルフラッシュ）
  スピーカー：「熱中症に注意してください。」のメッセージ再生

また、操作画面から警報時間を設定できます。
設定方法は、キッズウェイHPの「WEATHERY 操作マニュアル」を参照してください。
https://files.kids-way.ne.jp/iot/weathery/manual/WEF-DS01-manual.pdf

## ブラウザを使用した設定

ブラウザを使用した設定については、キッズウェイHPの
「WEATHERY 操作マニュアル」を参照してください。
https://files.kids-way.ne.jp/iot/weathery/manual/WEF-DS01-manual.pdf

## メール通知の設定

操作画面からメール通知を設定できます。
設定方法は、キッズウェイHPの「WEATHERY 操作マニュアル」を参照してください。
https://files.kids-way.ne.jp/iot/weathery/manual/WEF-DS01-manual.pdf

**ご注意**
- 無線通信の回線状況やサーバーメンテナンスにより、メール通知や機器設定が正常に行われない場合があります。

## しきい値の設定

操作画面からしきい値の設定ができます。
設定方法は、キッズウェイHPの「WEATHERY 操作マニュアル」を参照してください。
https://files.kids-way.ne.jp/iot/weathery/manual/WEF-DS01-manual.pdf

## 定格

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 名称 | | 黒球モデル |
| 品番 | | WEF-GT01 |
| 基本 | 電源 | AC100V （50/60Hz） |
| | 消費電力 | 最大15W |
| | 電源ケーブル長 | 5m |
| | 使用温度範囲 | -10～50℃ |
| | 使用湿度範囲 | 20～85%Rh （結露無きこと） |
| | 設置環境 | 屋外 |
| | 計測 | 気温、湿度、WBGT |
| | 外形寸法 | H432mm×W501mm×D214mm |
| | 重量 | 5kg |
| 通信 | | 無線通信網 |
| センサー | 測定範囲 | 黒球温度：-20～50℃※1<br>気温：-20～50℃※2<br>湿度：0～100%RH※2<br>WBGT：0～50℃※2 |
| | 精度区分（クラス） | クラス2準拠 |
| 表示灯 | 電球 | LED |
| | 点灯パターン | 赤：トリプルフラッシュ<br>黄：ダブルフラッシュ |
| スピーカー | 音圧レベル | 最大87dB |

※1：黒球温度の計測結果はクラウドには送信されず、WBGT値算出のために使用されます。
※2：専用サイトで表示される測定範囲になります。測定範囲外は「-」と表示されます。

## 返却方法

納品時の梱包材を使用して返却してください。
万一、本機への改造や破損、部品の不足などの異常があった場合は、修繕にかかる費用などをご負担いただく場合があります。梱包前に必ずご確認ください。

**お願い**
返却時に必要になりますので、梱包材は破棄しないでください。
返却前に異常が見つかった場合は、コールセンターへご連絡ください。

お問い合わせ先
コールセンター 0570-783-114
受付：9時～21時（年末年始を除く）
株式会社キッズウェイ
愛知県瀬戸市山の田町155番地